

# 子ども発達支援計画策定について

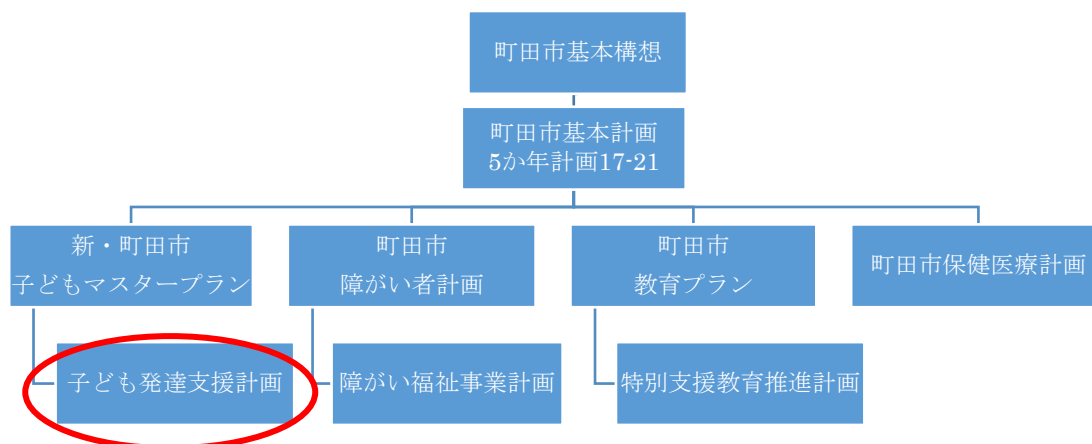
## 1 計画策定の背景

障害者総合支援法及び児童福祉法の一部改正（2016年6月施行）により、都道府県・市町村は、厚生労働大臣の定める「基本指針」に即して「障害児福祉計画」を定めるものとされました。

町田市においては、障がいの有無が明確でない児童も含めた支援計画とするため、名称を「町田市子ども発達支援計画」として策定します。

## 2 計画の位置づけ

「子ども発達支援計画」は「新・町田市子どもマスタープラン」の下位計画に位置づけます。



## 3 国が示した指針

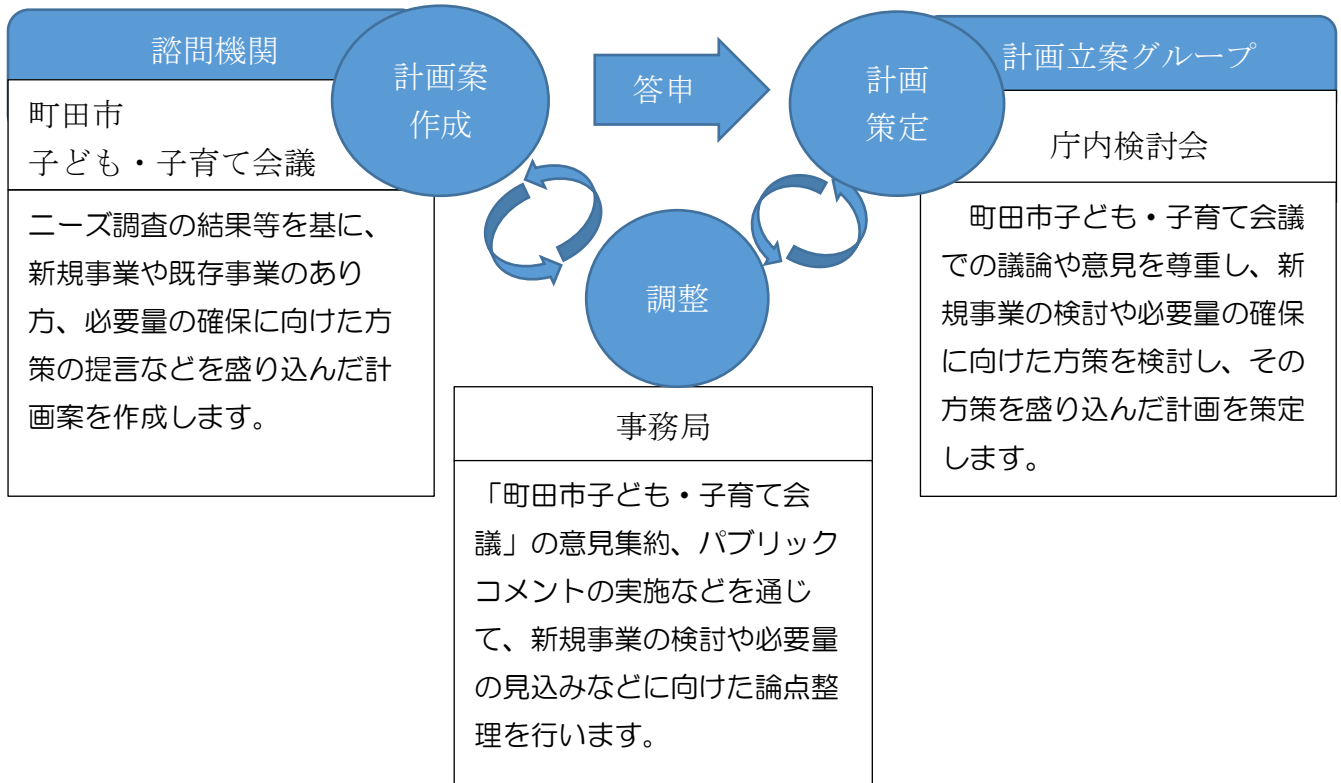
国から「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針」（平成29年3月31日厚生労働省告示第116号。以下「基本指針」という。）が示されました。本計画は、この基本指針に基づいて作成します。

### 【基本指針「第三 計画の作成に関する事項」（要点）】

- 障害者等の参加
  - サービスを利用する障害者等のニーズの把握に努める
- 地域社会の理解の促進
  - 地域住民、企業等の参加を幅広く求めるとともに、啓発広報活動を積極的に進める
- 総合的な取り組み
  - 保健、医療、介護、児童福祉、教育、文化芸術、雇用等の関係機関と連携

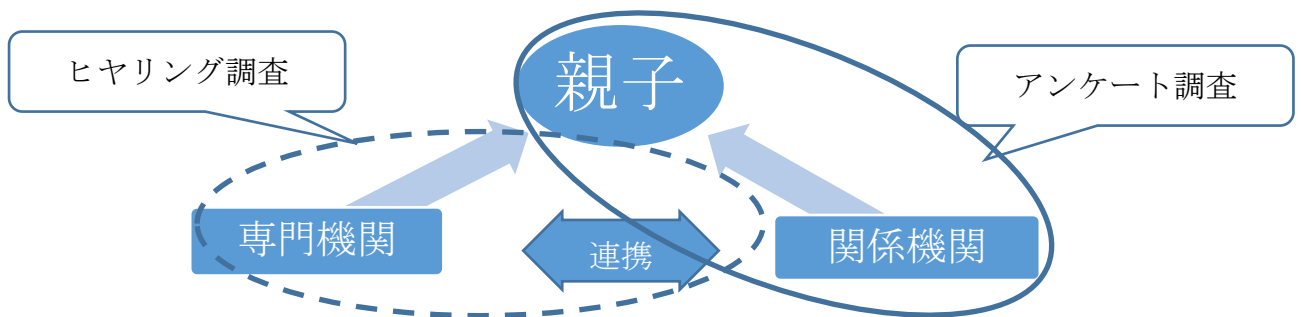
## 4 計画の策定方法について

町田市子ども・子育て会議で計画案を作成します。町田市は、庁内検討会で計画策定します。



## 5 ニーズ調査について

親子や関係機関へのアンケート調査によって、支援の実態や関係機関の連携の実態等について調査します。



親子：障害者手帳所持児童・特別支援学級在籍児童・通級指導学級利用児童

関係機関：地域子育て相談センター・保育園・幼稚園等・小中学校

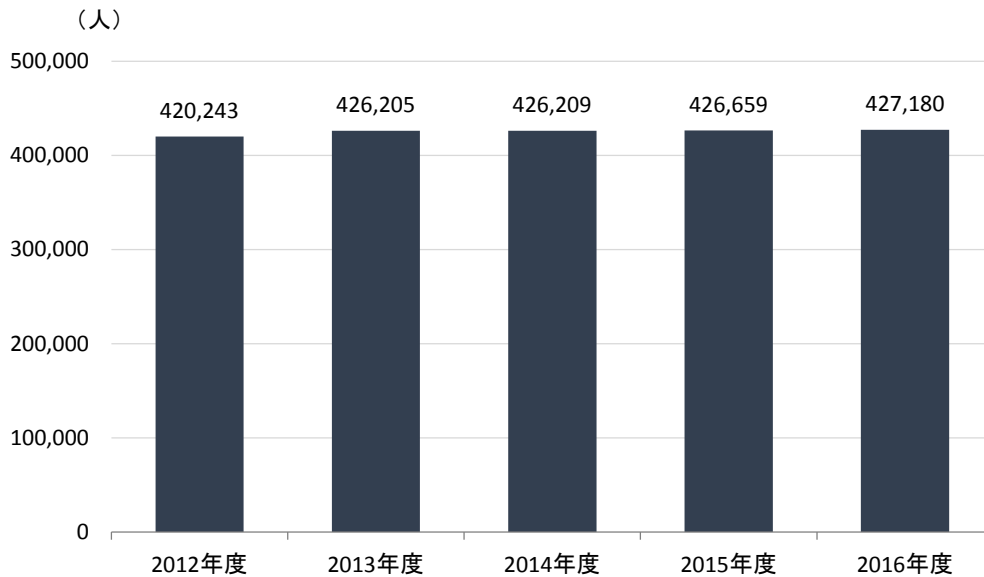
専門機関：医療機関・訪問看護ステーション・都立町田の丘学園・保健所・すみれ教室

## 6 町田市の障がい児を取り巻く状況

### (1) 人口

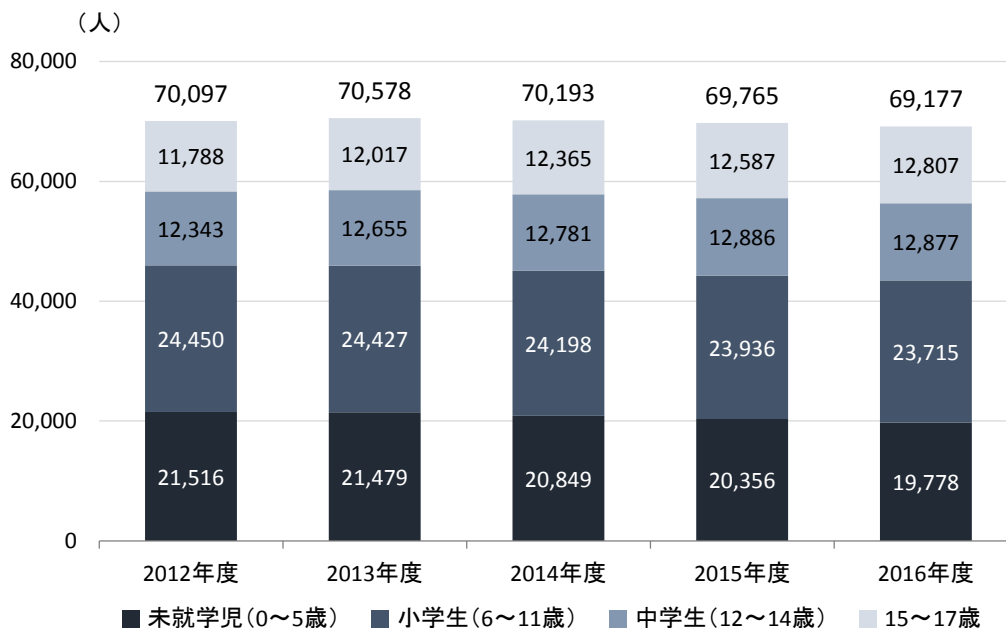
- 町田市の総人口の過去5年間の推移では大きい変動は見られず、2016年度の現時点で427,180人となっています。

#### ■ 総人口の5年間の推移



- 小学生以下の児童数の減少により児童数の合計は、全体的に減少傾向にあります。

#### ■ 年齢別児童数の推移

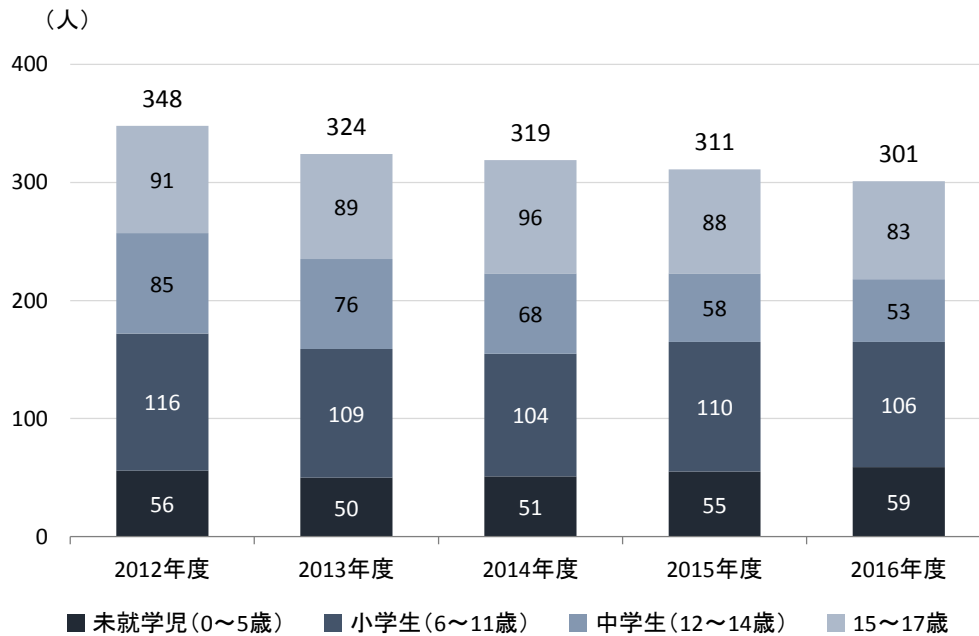


## (2) 手帳・受給者証の状況

### 【身体障害者手帳取得者数の推移】

- ・「身体障害者手帳」を取得した児童数は、未就学児以外は減少傾向にあります。

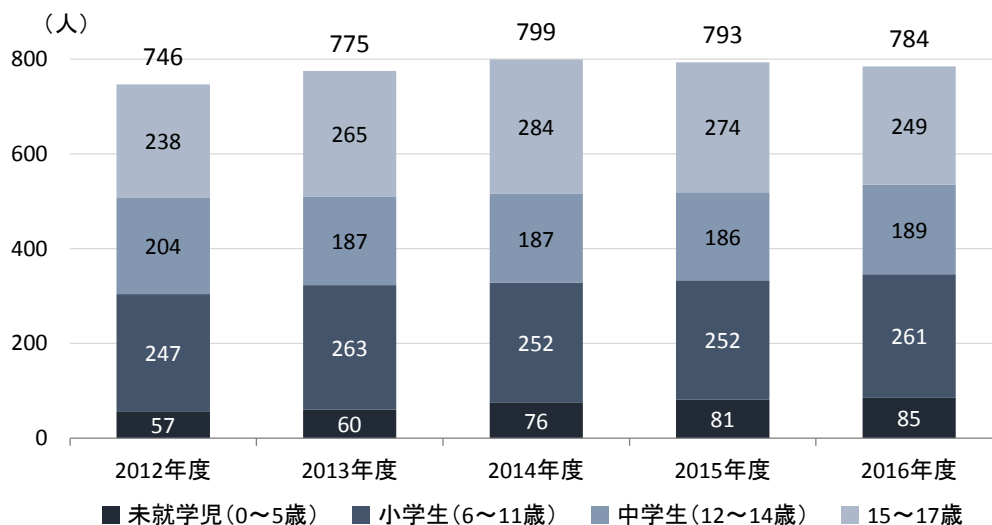
#### ■ 「身体障害者手帳」の取得者数



### 【愛の手帳取得者数の推移】

- ・「愛の手帳」を取得した児童数は、2014年まで増加傾向にありましたが、その後緩やかな減少となっています。
- ・一方、小学生以下は、過去5年間概ね増加しており、同年齢における人口が減少傾向にあることを勘案すると、小学生における「愛の手帳」の取得割合が近年増加していると見ることができます。

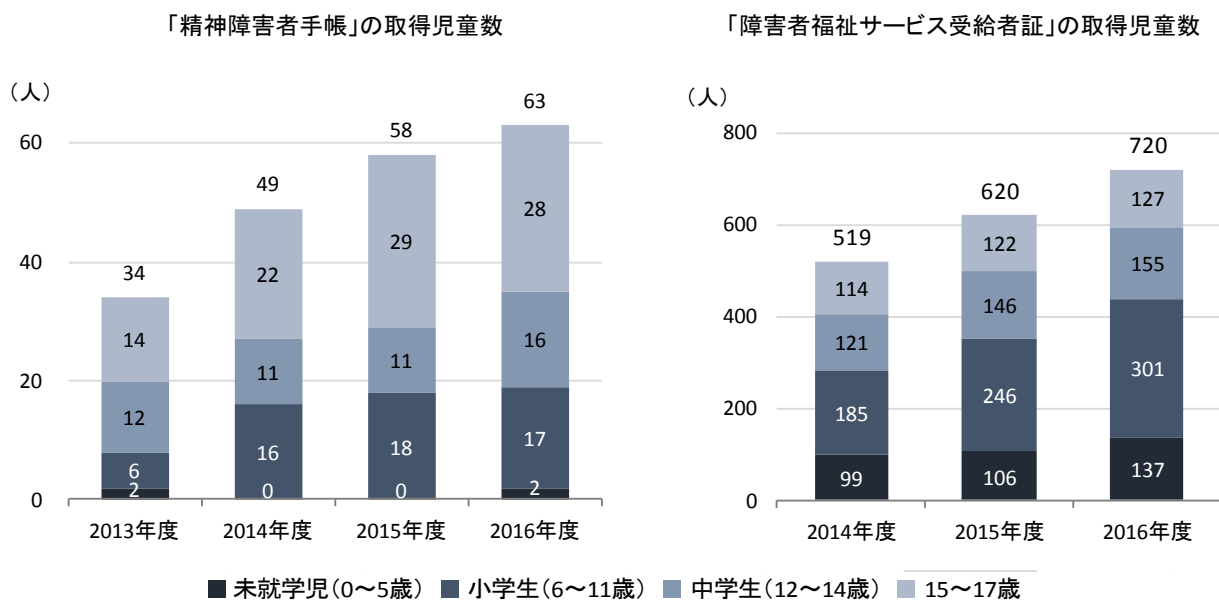
#### ■ 「愛の手帳」の取得者数



### 【精神障害者手帳取得者数の推移】

- ・「精神障害者手帳」を取得した児童数は、増加傾向にあります。
- ・「障害者福祉サービス受給者証」を取得した児童数は、増加傾向にあります。特に小学生の増加幅が顕著です。

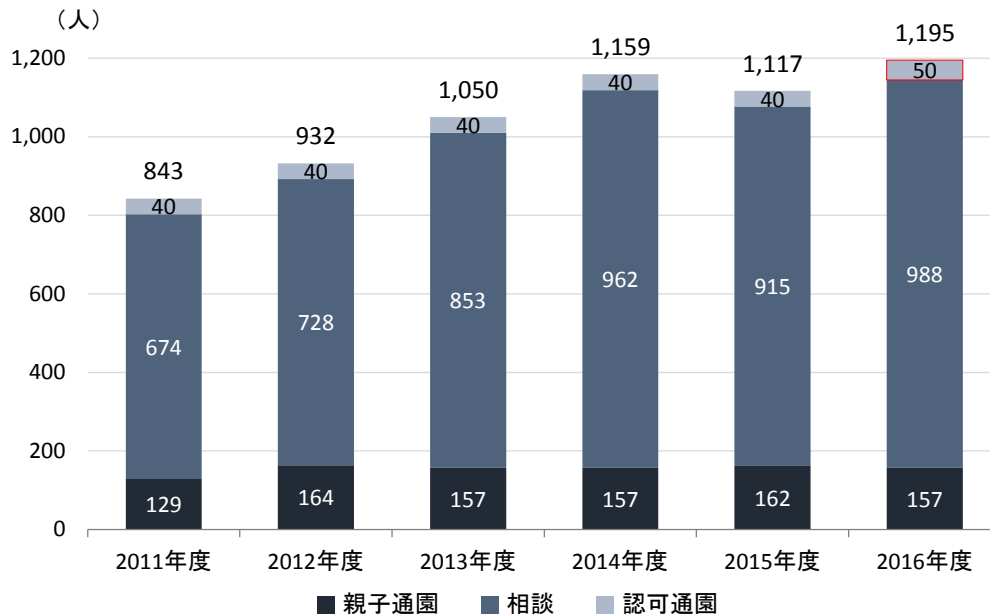
#### ■ 「精神障害者手帳」及び「障害者福祉サービス受給者証」の取得者数



### (3) すみれ教室の状況

- ・すみれ教室の利用数は、2015年には多少減少していますが、増加傾向にあります。特に相談件数が増加しています。
- ・認可通園の利用者数は、常に定員に達しています。なお、2016年度から、定員の柔軟化で、肢体不自由児の受け入れと週1回利用するプログラムを新設しました。

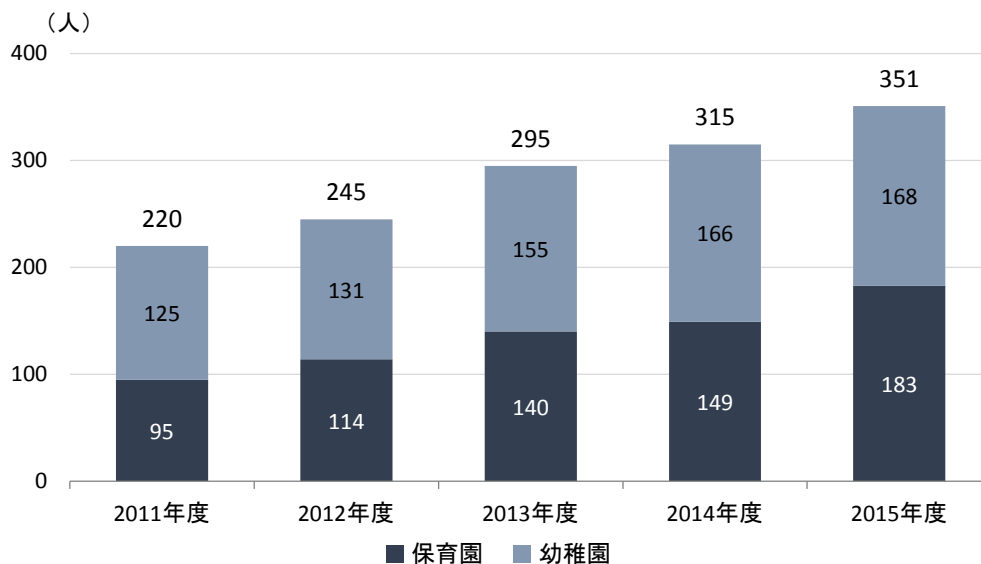
■ すみれ教室の利用状況



### (4) 保育園・幼稚園などへの通園の状況

- ・保育園及び幼稚園に通園している特別な配慮を要する児童数は、増加傾向にあり、保育園の場合は、5年間で約2倍近く増加しています。

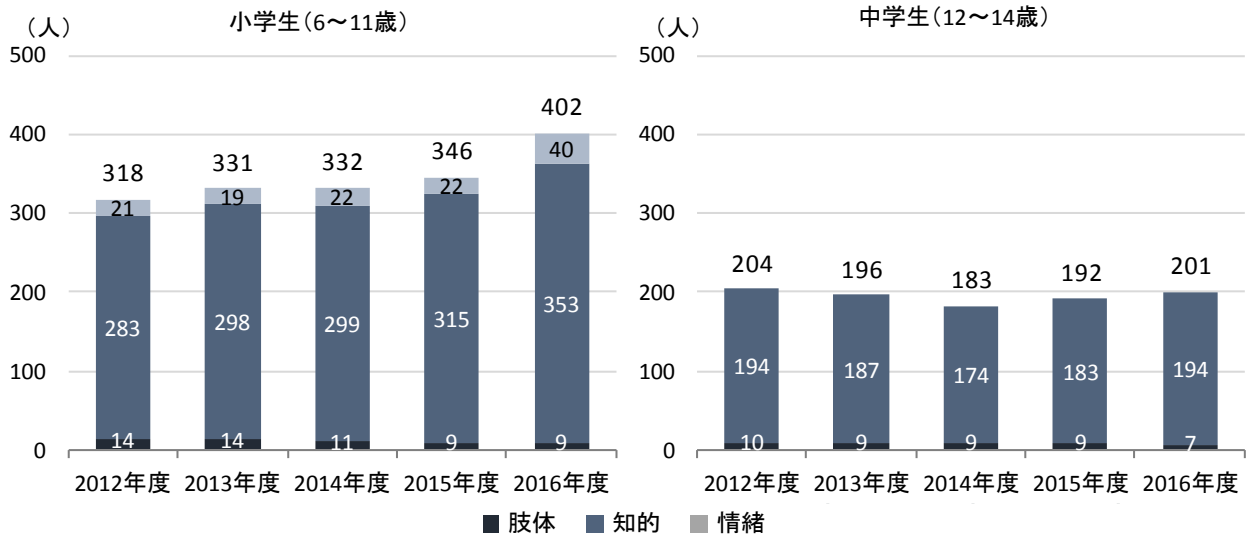
■ 特別な配慮を要する児童の通園状況



## (5) 特別支援学級・通級の状況

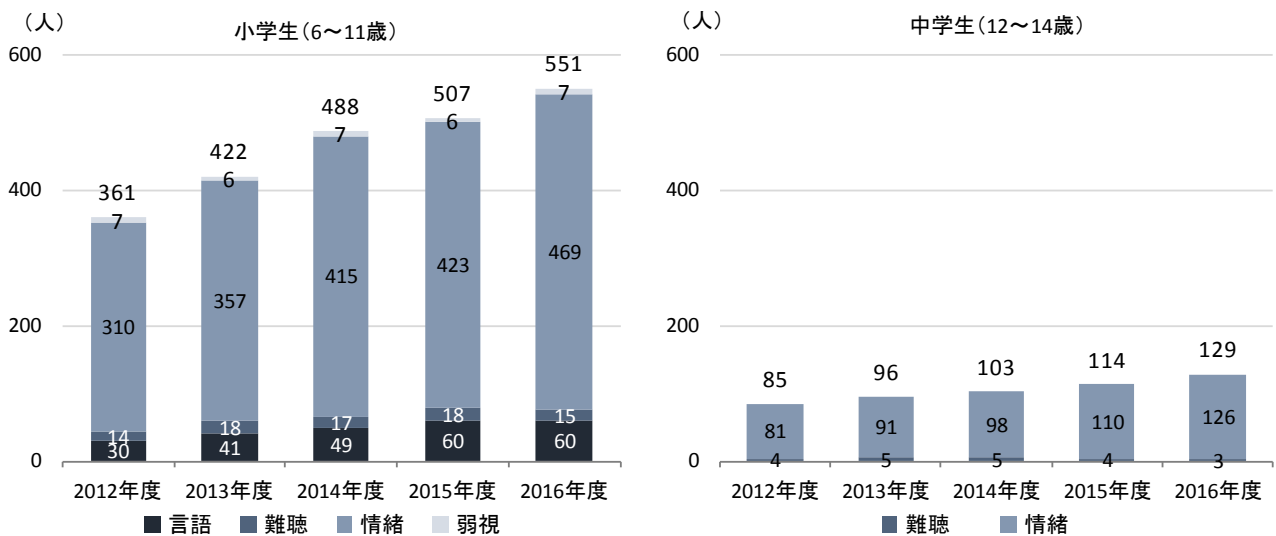
- ・特別支援学級の在籍児童数は、小学生は過去5年間増加傾向にあり、特に2015年から2016年までの1年間は、大幅に増加しています。
- ・中学生は、5年前と比べると大きな変動は見られません。

### ■特別支援学級の在籍児童数



- ・通級指導学級を利用している児童数は、小学生は増加しており、2016年時点で、情緒障がい児が469人と、5年間で約1.5倍、言語障がい児は60人と、約2倍となっています。
- ・中学生においても、増加傾向にあり、2016年時点で、情緒障がい児の数が126人と、5年間で約1.5倍となっています。

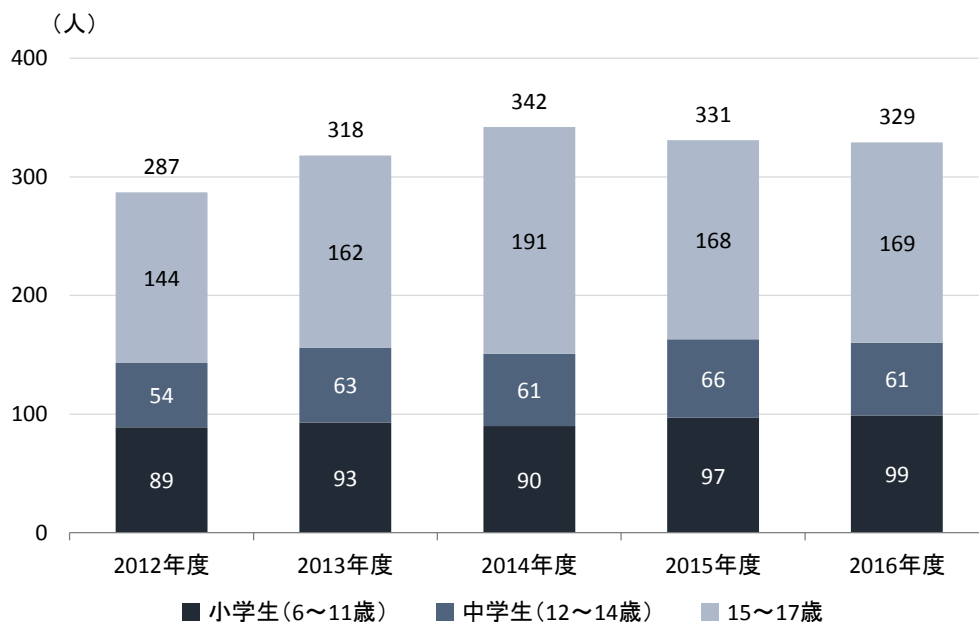
### ■通級指導学級の利用児童数



## (6) 特別支援学校（町田の丘学園）の状況

- ・知的障害教育部門に在籍する児童・生徒は、小中学部では大きい変動は見られませんが、高等部では2012年から2014年まで大幅に増加し、その後多少減少しています。

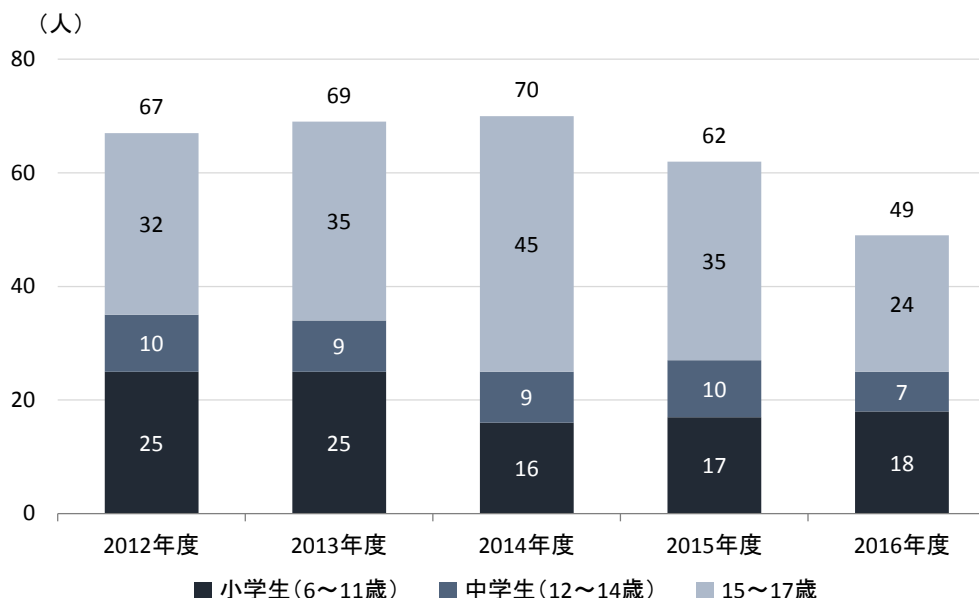
■特別支援学校「町田の丘学園」\_知的障害教育部門 在籍児童・生徒数



「東京都立町田の丘学園」発表資料を「すみれ教室」が集計

- ・肢体不自由教育部門に在籍する児童・生徒は、年齢別の推移の違いが大きく、中学生は大きい変動は見られませんが、15~17歳では2014年に大幅に増加し、その後急激に減少している反面、小学生は2013年から2014年で減少し、それ以降は横ばいで推移しています。

■特別支援学校「町田の丘学園」\_肢体不自由教育部門 在籍児童生徒数



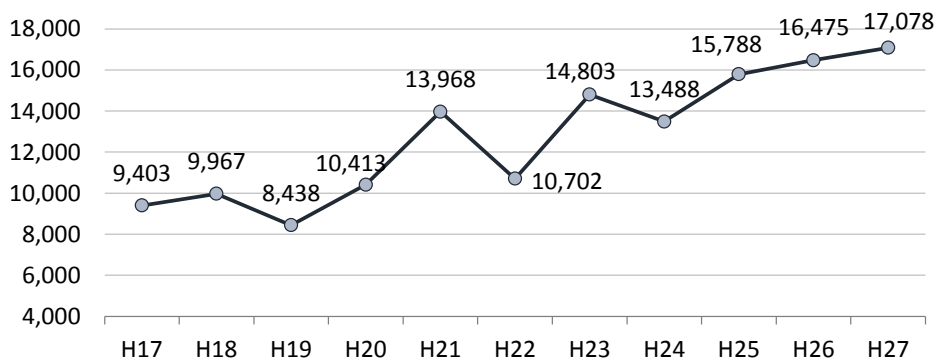
「東京都立町田の丘学園」発表資料を「すみれ教室」が集計



## 7 町田市子ども発達支援計画策定における課題

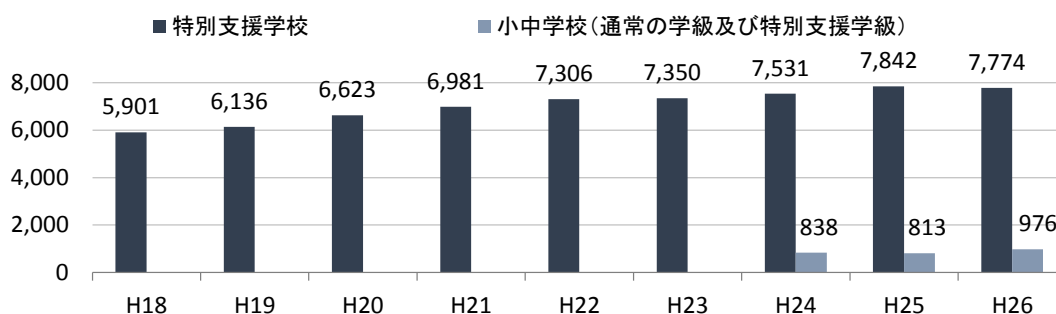
### (1) 医療的ケア児と重症心身障がい児への支援について

#### ■医療的ケア児の推移



「医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携に関する研究」の中間報告

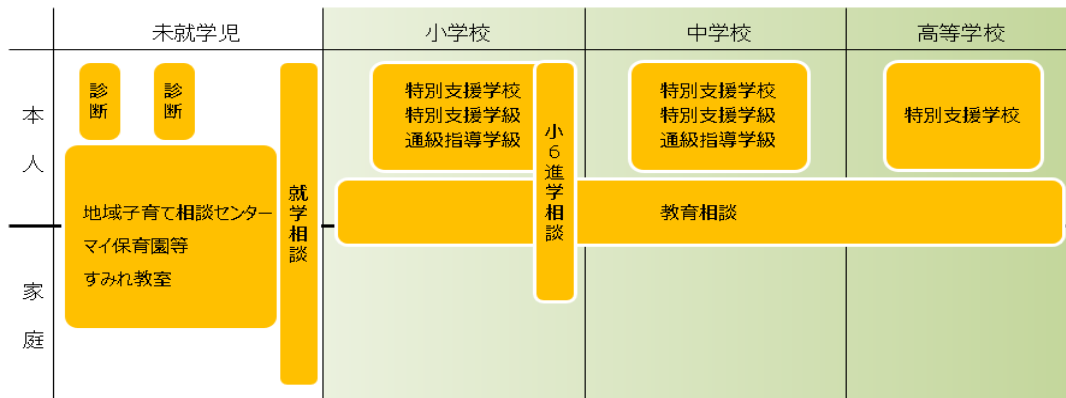
#### ■特別支援学校及び小中学校における医療的ケアが必要な児童生徒数



文部科学省「特別支援学校等の医療的ケアに関する調査結果」

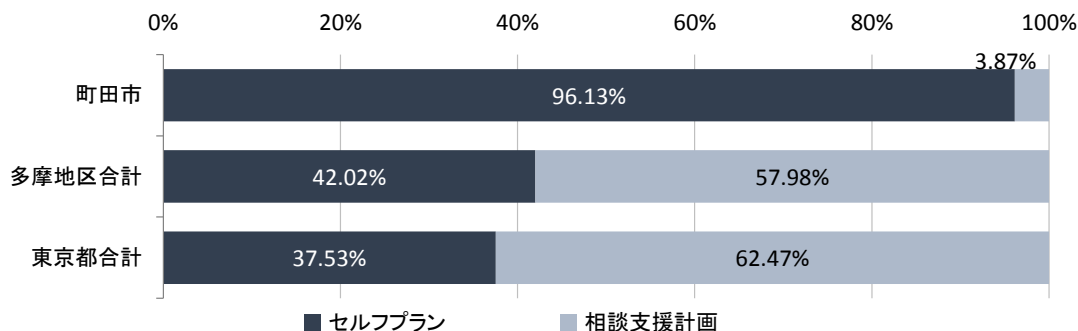
### (2) 切れ目のない支援について

#### ■発達に関わる支援（相談）の現状



### (3) 適切なサービス提供について

#### ■計画策定におけるセルフプランと相談支援プランの割合



町田市子ども発達支援計画策定における課題まとめ

